

## 市町認知症施策の取組状況調査結果の概要 (令和7年度長寿介護課調査)

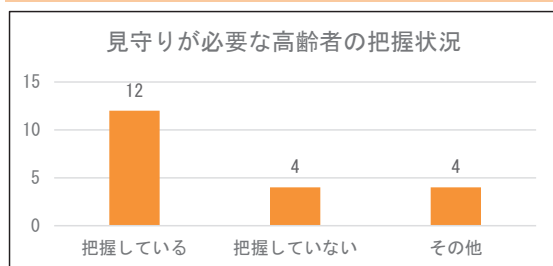
- 調査目的: 市町における取組状況を把握し、参考となる先進事例や施策実施上の課題を抽出するための参考とする。
- 調査対象: 市町認知症施策担当者
- 調査方法: 調査票をメール配布・回収
- 実施時期: 令和7年11～12月
- 回答状況: 全20市町



令和8年2月9日

### 1 認知症に関するニーズ調査等や実態把握、意見の聴取について

#### 単身高齢者などの見守りが必要な高齢者の把握状況



#### <その他の内容>

- ・住民基本台帳にて概ね把握している(伊予市)
- ・西予市避難行動要支援管理運営事業、緊急通報体制整備事業申請分は把握(西予市)
- ・要介護認定を受けていない75歳以上の単身世帯を把握(上島町)
- ・緊急通報システム利用者・認知症高齢者等SOSネットワーク登録者・災害時避難行動要支援者を把握(愛南町)

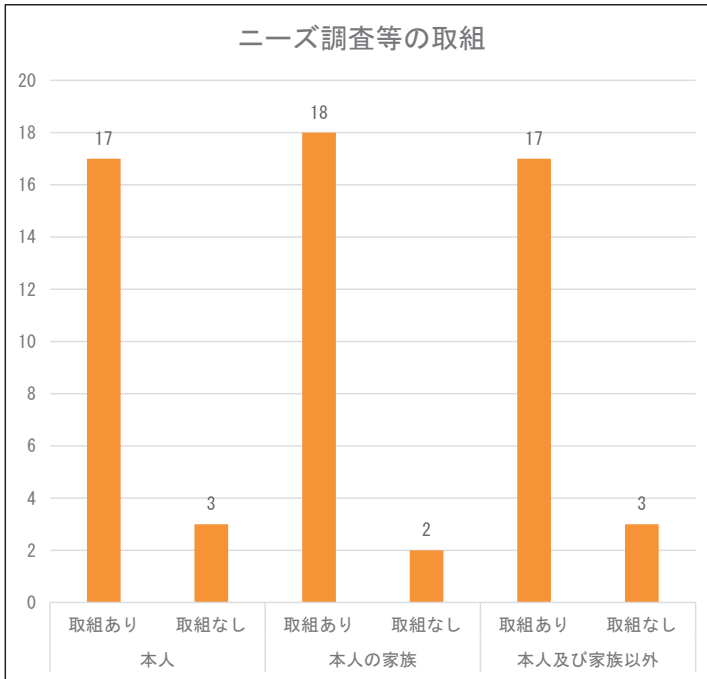
#### 単身高齢者に対する支援について

##### <支援内容(自由記載)>

- ・愛の一声訪問事業、緊急通報体制整備事業、日常生活用具給付等事業、独居高齢者みまもり員設置事業(松山市)
- ・見守り推進事業、西条市SDGs推進協議会の設置、民生委員及び地区消防団による訪問(西条市)
- ・各地区に高齢者見守り員を設置、緊急通報装置の貸出、配食サービス等で安否確認を行っている(伊予市)
- ・各地区に見守り推進員を配置(四国中央市)・緊急通報体制整備事業として緊急通報装置の設置(西予市)
- ・家族の居所を把握し、ハイリスク者の状況確認(上島町)
- ・見守り推進員による定期的な訪問(松前町)・民生委員による訪問(砥部町)
- ・見守り推進員による定期的な訪問、緊急通報装置の設置、配色サービス及びゴミ出し支援による安否確認(内子町)
- ・民生委員による訪問、緊急通報装置設置事業、高齢者配食サービス事業、給食サービス事業(伊方町)
- ・訪問による実態把握を通して民生委員・関係機関と連携、救急医療カードを作成(松野町)
- ・救急医療情報キットの配布、地域支援事業の紹介、民生委員との情報共有等(鬼北町)
- ・緊急時の訪問・家族親族等の連絡調整等(愛南町)

# 1 認知症に関するニーズ調査等や実態把握、意見の聴取について

## 認知症に関するニーズ調査等の取組



### <取組の内容>

#### 【本人】

- ・窓口対応、訪問相談対応、電話対応時に聞き取り
- ・チームオレンジ、認知症カフェ、本人ミーティングでの聞き取り など

#### 【本人の家族】

- ・窓口対応、訪問相談対応、電話対応時に聞き取り
- ・チームオレンジ、認知症カフェ、家族介護教室での聞き取り など

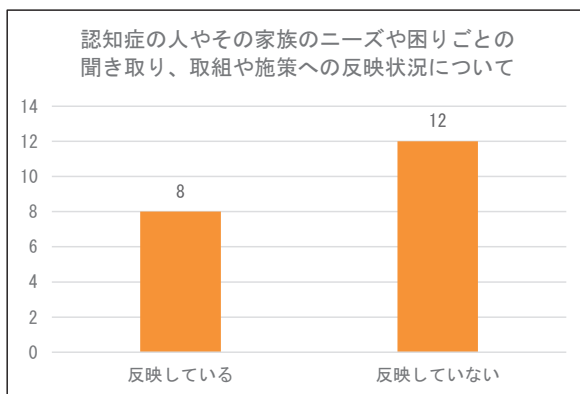
#### 【本人及び家族以外】

- ・総合相談
- ・日常生活圏域ニーズ調査
- ・地域住民、民生委員、ケアマネからの相談
- ・金融機関、ライフライン事業所等からの情報提供など

2

# 1 認知症に関するニーズ調査等や実態把握、意見の聴取について

## 認知症の人やその家族のニーズや困りごとを聞き取り、取組や施策に反映しているか



### <反映し、聞き取った内容や取り組みに反映したこと>

・認知症の人のご家族から、「本人が閉じこもりがちなので、話し相手がほしい」と相談を受け、**チームオレンジによる『おしゃべり訪問』の活動を開始**した。また、「介護サービスではなく、気軽に通って人と交流できる場所はないか」との相談を受けて、市内で活動している高齢者サロン等に活動状況の調査を行い、**認知症ケアパスに『通いの場』の一覧を掲載**した(伊予市)

・「認知症の相談窓口を知らない人が多い」という意見を受け、**地域包括支援センターのフライヤーを作成**し、敬老会の仕出し弁当(町内に住む70歳以上の希望者)に折り込みしたり、地域の集まり(サロンや体操教室など)で**配布**している。(鬼北町)

・認知症カフェ等の既存の事業のなかで取り組んでいる(複数市町が回答)

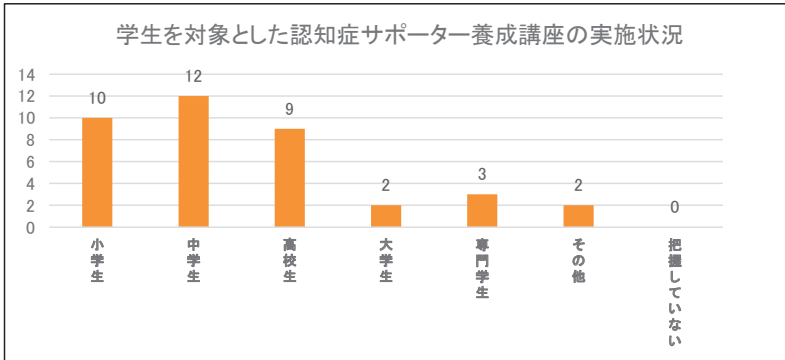
### <反映していない理由>

- ・現在、ニーズや困りごとの把握に努めている段階で、今後、具体的な取組や施策に反映できるかを検討していく予定(複数市町が回答)
- ・聞き取りしている対象者がまだ少なく、取組や施策につなげられるほどの課題の把握に至っていないため
- ・認知症の人や家族とのつながりを持ち、現時点では関係づくりを行っている段階
- ・人口規模が小さいため、当事者の意見をそのまま取組に落とし込むことが難しい
- ・個別での対応になっている。
- ・ニーズや困りごとを聴き取る機会がなく、把握できていないため(複数市町が回答)

3

## 2 認知症の人に関する国民の理解の増進等に関する取組について

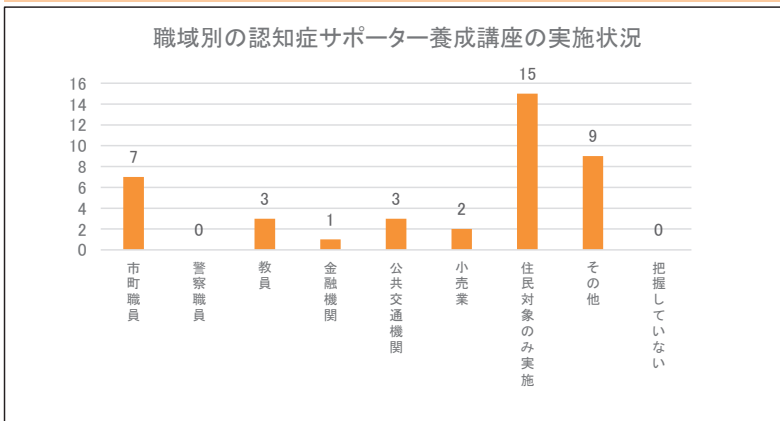
### 学生を対象とした認知症サポーター養成講座の実施状況について



<その他の内容>

- ・ジュニアボランティア(今治市)
- ・美容学校(宇和島市)

### 職域別の認知症サポーター養成講座の実施状況について



<その他の内容>

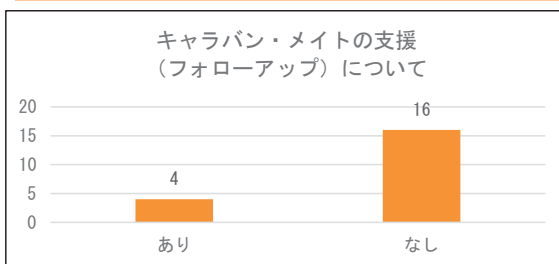
- ・介護・障がい事業所
- ・医療機関
- ・金融機関
- ・商工会
- ・市主催の介護予防サポーター養成講座でボランティア意欲のある住民
- ・高齢者見守り員
- ・小中学生の保護者
- ・介護予防サポーター

等

4

## 2 認知症の人に関する国民の理解の増進等に関する取組について

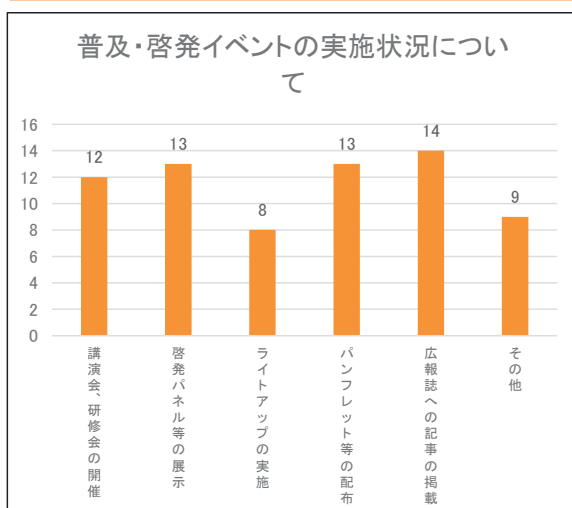
### キャラバン・メイトへの支援状況について



<内容>

- ・認知症サポーター養成講座のテキスト変更の周知、認知症サポーターとのグループワークなど(今治市)
- ・年1回キャラバン・メイト連絡会を開催し、講座内容の検討や寸劇動画の収録(四国中央市)
- ・月1回連絡会を実施している(東温市)
- ・認知症の家族の講話(宇和島市)

### 認知症月間の機会等において、普及・啓発イベントの実施状況について



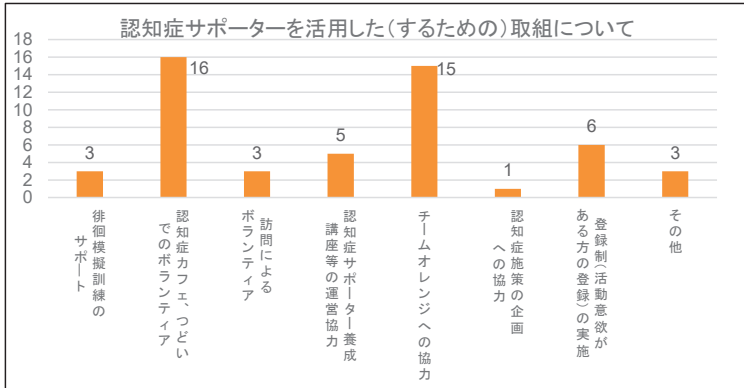
<その他の内容>

- ・市ホームページ、市公式LINEへの掲載(松山市)
- ・医療MaaSを利用し、認知症の相談会を実施。(新居浜市)
- ・認知症に関するのぼり旗を設置、市SNSに認知症に関する記事を掲載、認知症サポーター養成講座の開催(西条市)
- ・オレンジガーデニングプロジェクト(伊予市)
- ・懸垂幕の掲揚(四国中央市)
- ・図書館で認知症関連の本の紹介を行った(東温市)
- ・MCIスクリーニングテスト及び認知症予防教室の開催(上島町)
- ・認知症カフェでメッセージの展示(砥部町)
- ・図書館展示(内子町)
- ・地元CATVでライトアップの放映と介護者の交流会(鬼北町)

5

### 3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

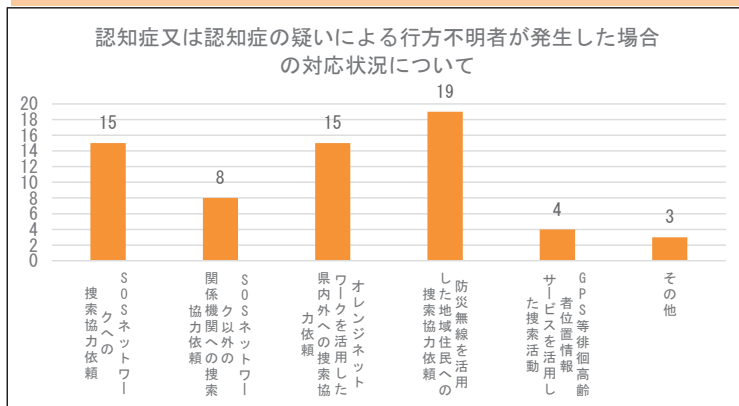
#### 認知症サポーターを活用した(するための)取組について



#### <その他の内容>

- ・市主催で行っている認知症サポーター養成講座については、アンケート兼個人情報同意書として、今後の活動意欲のある方の把握を行っている(西条市)
- ・介護予防サポーター(認知症サポーターを兼ねる)を登録し、地域でニーズのあるボランティア活動とマッチングをしている(西予市)
- ・認知症パネル展において、展示物の作成を依頼している(上島町)

#### 認知症又は認知症の疑いによる行方不明者が発生した場合の対応状況について

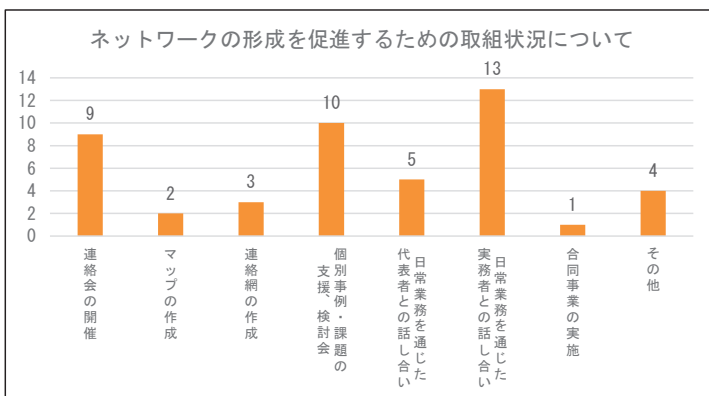


#### <その他の内容>

- ・西条市安全・安心情報お届けメールを活用した住民等への検索協力依頼(西条市)
- ・見守りシールの配布(伊予市)
- ・多職種クラウドシステムを活用し、検索協力依頼(西予市)

### 3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

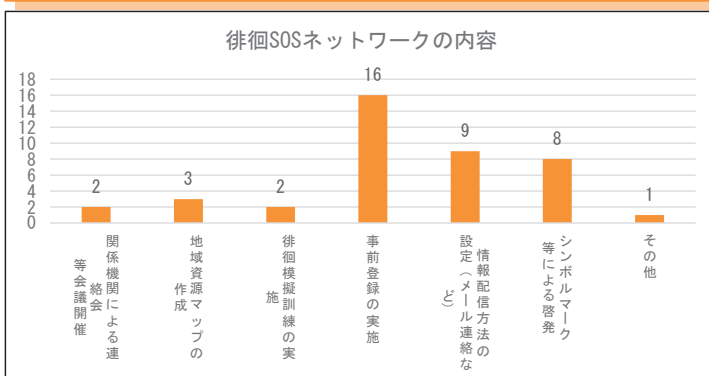
#### ネットワークの形成を促進するための取組内容について



#### <その他の内容>

- ・アプリの周知(今治市)
- ・見守り協力加盟店への登録依頼、加盟店新聞を発行し、情報共有(西予市)
- ・対象者の情報共有、警察とのケース協議(久万高原町)
- ・見守りネットワーク事業所の募集(鬼北町)

#### 徘徊SOSネットワークの内容



#### <その他の内容>

- ・認知症高齢者等見守り支援事業(R6年度～)として、GPS等の購入費等の補助(鬼北町)

### 3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

#### 災害発生時、認知症の人を含めた高齢者が速やかに避難できる体制の整備について

A: 整備している・・・14市町 B: 整備していない・・・6市町

<認知症の人に対するの取組み内容(抜粋)>

- ・避難行動要支援者制度として、個別避難計画を作成している(複数市町が回答)
- ・防災担当課において、認知症避難者リストを作成している(大洲市・内子町)
- ・地元消防団等による避難支援(伊方町)

#### 災害時において認知症の人を含めた高齢者が可能な限り自立した日常生活・社会生活を営むことができるための取組の実施状況

A: 実施している・・・5市町 B: 実施していない・・・15市町

<認知症の人に対するの取組み内容(抜粋)>

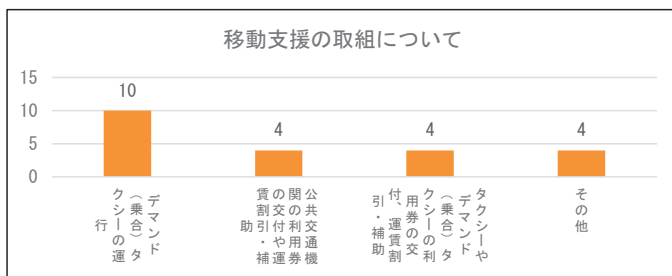
- ・認知症の人を含む要配慮者や障がい者、体調がすぐれない人等のために、避難所内に福祉避難スペースを確保し、職員を配置するなどして、見守り・支援ができる体制を整えている(松山市)
- ・要介護認定を受けている高齢者に対して、個別避難計画を立てるようにすすめている。(四国中央市)
- ・関係部署と連携し、避難所において要支援者の支援に関する相談やニーズ等に対応。また、要支援者の留意事項や生活支援に活用できる事項を名簿情報に記載(西予市)
- ・災害時に認知症などで一般避難所での対応が難しい場合は、協定を結んでいる福祉避難所で受け入れることができる体制をとっている(砥部町)
- ・認知症の方が不安にならないように、定期的に保健師等が巡回し様子を把握している。必要に応じて担当ケアマネが居る場合は協力を依頼している。(松野町)

8

### 3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

#### 認知症の人を含む高齢者等の移動支援に関する取組の実施状況

A: 実施している・・・12市町 B: 実施していない・・・8市町

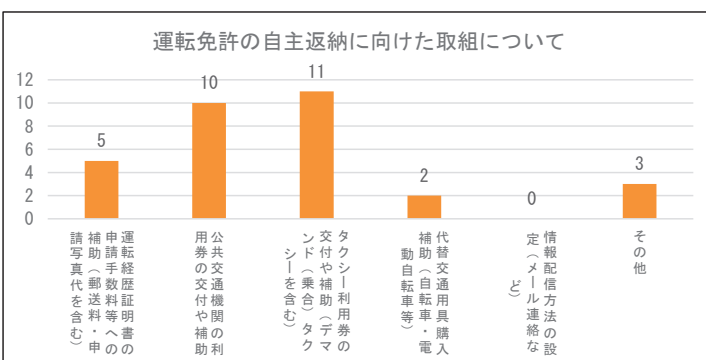


<その他の内容>

- ・社協の有償ボランティアによる愛ネットワーク移送サービス(四国中央市)
- ・町営フェリーの75歳以上無料優待(上島町)
- ・温泉バスの運行(砥部町)
- ・介護タクシー助成事業(一般の公共交通機関を利用することが困難な高齢者の方などが、介護タクシーを利用して医療機関へ受診等をした場合、利用料金の一部を助成する)(愛南町)

#### 運転免許証の自主返納に向けた取組の実施状況

A: 実施している・・・14市町 B: 実施していない・・・6市町



<その他の内容>

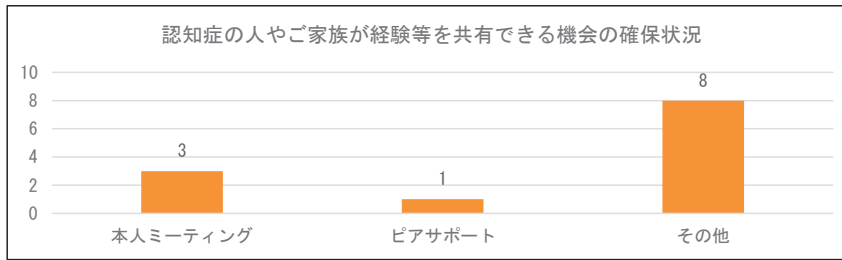
- ・タクシー利用券の交付や補助(デマンド(乗合)タクシーを含む)または給油助成券の交付(内子町)
- ・松野町ふれあい交流館温泉部門(森の国ぽっぽ温泉)利用料金の一部免除(年間60回限度)(松野町)
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業(65歳以上の運転免許証を自主返納した方に1万円分の電子地域通貨『KIHOCA』の給付又は給付補助券を交付)(鬼北町)
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業(満65歳以上で、平成24年4月1日以降に自主返納された方に対して、500円のタクシー券を1人につき年間50枚交付する。交付を受けた年度から3年間申請できる。)(愛南町)

※松山市運転免許サポート事業は、自主返納制度の周知が進んだため、令和6年度で申請受付を終了。(松山市)

9

## 4 認知症の人の社会参加の機会の確保等

### 認知症の人やご家族が経験等を共有できる機会の確保の取組状況について



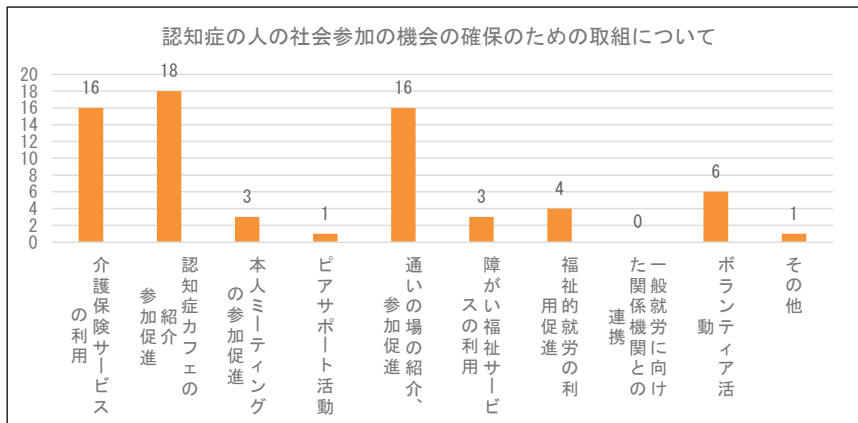
<その他の内容>

- ・認知症カフェ
- ・チームオレンジ
- ・認知症介護教室の開催
- ・介護者のつどい 等

### 認知症の人の社会参加の機会の確保のための取組の実施状況

A: 実施している・・・18市町 B: 実施していない・・・2市町

<実施している場合、取組内容について>



<その他の内容>

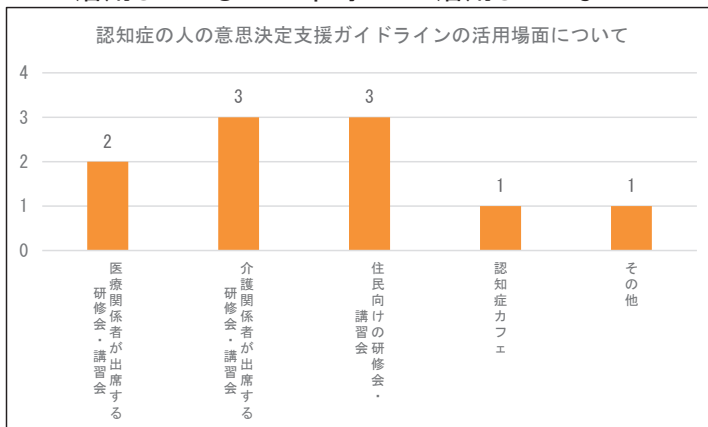
- ・認知症希望大使への推薦
- ・認知症サポーター養成講座への参加
- ・認知症カフェの開催 等

10

## 5 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護

### 「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」の活用状況について

A: 活用している・・・5市町 B: 活用していない・・・15市町



<その他の内容>

- ・チームオレンジやステップアップ講座にて活用(西条市)

### ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関する取組の実施状況について

A: 実施している・・・13市町 B: 実施していない・・・7市町

<取組内容について>

- ・講演会や出前講座、パンフレットの配布(複数市町が回答)
- ・エンディングノートの作成(複数市町が回答)
- ・成年後見制度、死後委任事務などの社会資源に関する情報提供
- ・パネル展示
- ・もしバナゲーム

11

## 6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

### 意思決定に関し、好事例や苦勞していること

#### <好事例>

- ・「家でいたい」との考えに寄り添い、周辺の見守り体制を強化し、生活できるようにしている。

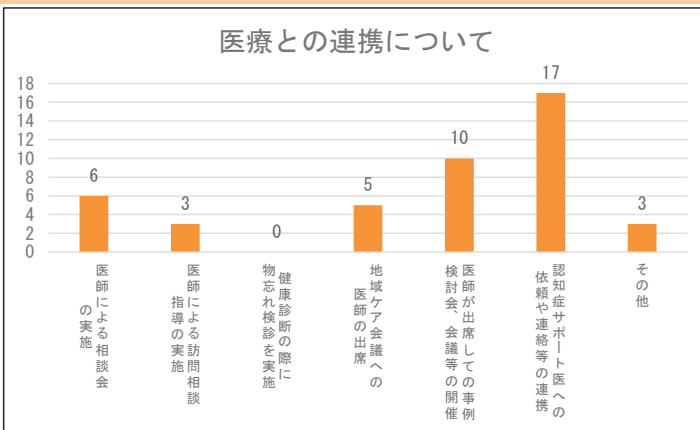
#### <苦勞していること>

- ・重症化する前の前段での家族を含めたACPへの認知度が低い。
- ・金銭管理や貴重品管理について本人の意志を尊重しながら社会生活上困難を減らして行く事が大変。
- ・本人の意向と家族の意向との調整や折り合いに苦勞している。
- ・後見人をつけなければ今後の支援が難しいが本人が拒否が強いときの申し立てをどうすれば良いか悩む。申し立てをしたとしても時間がかかるため、その間の対応を誰がするのかあまいになり苦勞している。
- ・多くの方は認知症と診断されたことは受け入れがたい。そのため本心を把握したり抱えている問題を解決したりすることが出来ない。
- ・本人がサービスの利用を拒否し家族や周囲が対応に困っている。
- ・アルツハイマー型認知症の診断を受けている方。医療に対する不信感とタクシー代が負担で通院拒否。エアコンなし、冷蔵庫なし。食料よりもタバコが優先。介護サービスなどの支援も拒否。何を提案しても拒否され支援が入らず苦勞している。
- ・認知症の人の意思決定が客観的にみて不利益と考えられる場合に、疾患によるものか、理解した上での意思決定なのかの見極めや、その対処に苦勞している。

12

## 6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

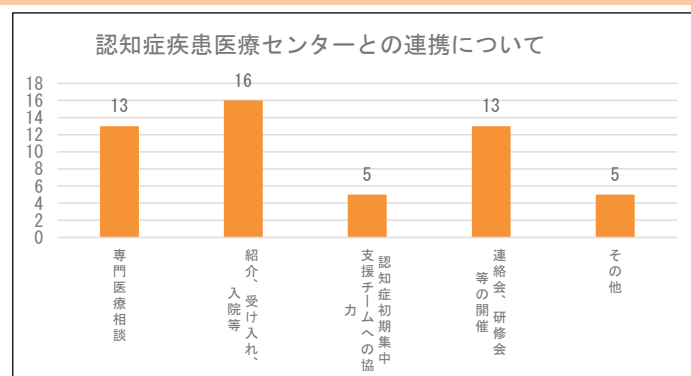
### 医療との連携について



#### <その他の内容>

- ・各地域包括支援センターに相談医を配置し、相談支援体制を整備している(松山市)
- ・かかりつけ医への個別相談(伊方町)
- ・鬼北町地域福祉ネットワーク(ICT)を活用した情報共有(鬼北町)

### 認知症疾患医療センターとの連携について



#### <その他の内容>

- ・認知症疾患医療センター主催の連絡会への参加(年2回)(八幡浜市)
- ・認知症に関する疫学調査(中山町調査)
- ・市の認知症対策検討会に圏域の認知症疾患医療センターの方を委員として出席依頼(西予市)
- ・研修会への参加。(上島町)
- ・認知症疾患医療センターが主催する会議・研修会への参加(鬼北町)

13

## 6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

### 認知症初期集中支援チーム 令和7年度上半期実績について

A: 訪問実人員・・・25人 B: 訪問延べ人数・・・160人 C: チーム員会議開催延べ件数・・・18件【8市町】

### 認知症初期集中支援チームについて

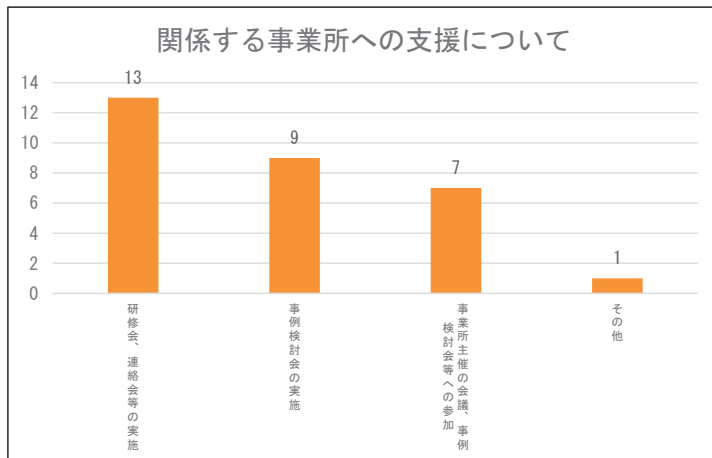
#### <課題や運営上の問題点>

- ・提出書類が多く、業務の負担となっている
- ・本人に拒否感があるとチーム支援の対象になったとしても医療、介護のサービスにつながらず、見守ることしかできず**総合相談対応としまして変わらない結果**しか得られない。チーム支援を活用した場合に得られるメリットが専門医のアドバイスであるが、大変有用で素晴らしいものだと思うが準備に必要なコストの割に得られるもの少ないと感じてしまう。明らかに認知症が進行しており、介護、医療が必要な状態で、緊急性のほどほど高い案件の方がスムーズに対応でき、**総合相談業務としましてかわりない**体裁になってしまうのが問題だと感じる。本当に初期の状態でおかつ本人が自覚なく支援を拒否している方。そういった方が健康診断感覚で認知機能を専門的に評価してもらい、その後の経過も含めてサポートしてもらえようような支援になればいいと感じる。
- ・**総合相談での対応**がほとんどで、初期集中支援チームとしての経験値の乏しいこと。
- ・認知症疾患医療センターが身近にできたことで、家族も専門医の受診を希望され、直接受診予約に繋がるが多くなったため、認知症初期集中支援チームの実績は少なくなっている。
- ・**総合相談支援での地区担当者による認知症の人への相談対応能力の向上**や医療機関等との関係性深化などを背景に、対象者は減少傾向であり、初期集中支援チームの活動について、実施の役割分担や事務負担軽減を図るなど工夫が求められている。
- ・**総合相談として対応**しており、チーム対応にする必要があるのか判断が難しい。チーム対応となると書類をそろえる必要性があり事務量が多くなる。また本人の同意書のサインが得られにくい場合もあり苦慮する。
- ・地域包括支援センターにおける**総合相談で対応**しており、チームの活動にいたっていない。
- ・チーム員による頻回な訪問が困難。包括直営のため、ケースの選定が困難。
- ・認知症サポート医がR4年度で退職されたため、町内に認知症サポート医がいない状態であるため、現在は休止中。
- ・サポート医の高齢化に伴い、新規で研修を受けていただく医師の確保が課題。

14

## 6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

### 関係する事業所への支援について



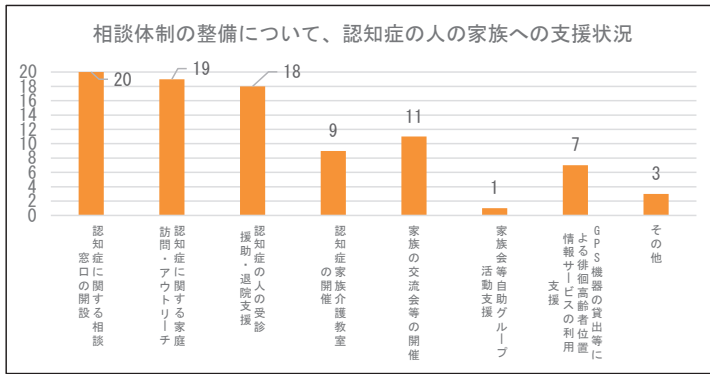
#### <その他の内容>

- ・圏域居宅介護支援事業所の介護支援専門員に対して、「認知症初期集中支援チーム」による支援が可能であることを周知している。(松山市)

15

## 7 相談体制の整備等

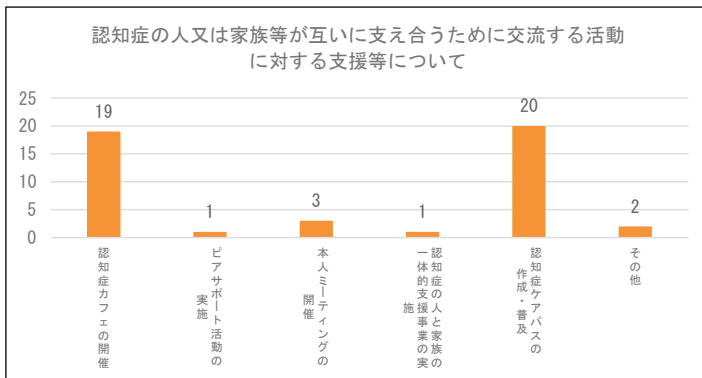
### 認知症の人の家族への支援状況について



#### <その他の内容>

- ・徘徊高齢者等SOS登録事業（登録者へ見守りQRマーク配布）（西予市）
- ・徘徊高齢者事前登録、オレンジセーフティネットへの登録（久万高原町）
- ・認知症等が原因で行方不明となる可能性のある要保護高齢者の登録事業（鬼北町）

### 認知症の人又は家族等が交流する活動に対する支援や情報提供の実施状況について



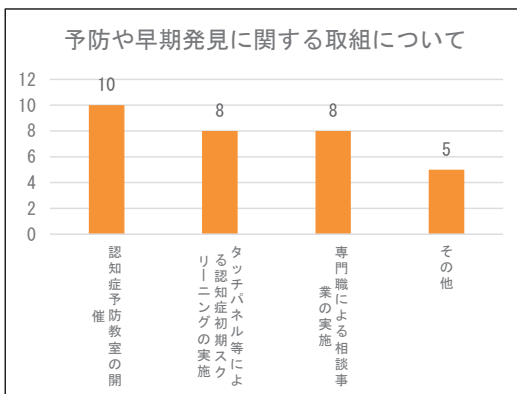
#### <その他の内容>

- ・チームオレンジの運営支援（松山市）
- ・2か月に1回介護者のつどいを開催、年1回当事者も含めた交流事業の実施。町内2か所の認知症カフェに定期的に参加し、運営をサポートしている（鬼北町）

16

## 8 認知症の予防等

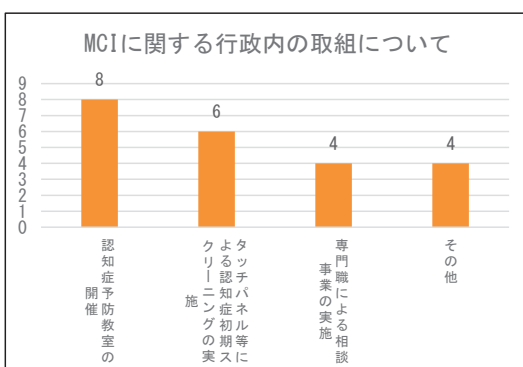
### 予防や早期発見に関する行政内の取組について



#### <その他の内容>

- ・地域の集い場に包括職員も参加し、気軽に相談できる場を設けている（松山市）
- ・サロンや地域の集まり等での認知症予防の講話、市主催のフレイル予防教室の1コマに認知症予防の講話を取り入れている（西予市）
- ・運動教室として実施（内子町）
- ・サロンや各団体への出前講座を実施、介護予防教室の内容に脳トレ等を取り入れ実施している（伊方町）
- ・認知症予防は地域の自主活動グループ等からの依頼があった際に講話等を行っている。ご当地体操として「愛南はつらつ介護予防体操」を制作しているが、そのメニューの中に認知症予防（コグニサイズ）を盛り込んでおり、介護予防の普及啓発として活用している（愛南町）

### MCIに関する行政内の取組について



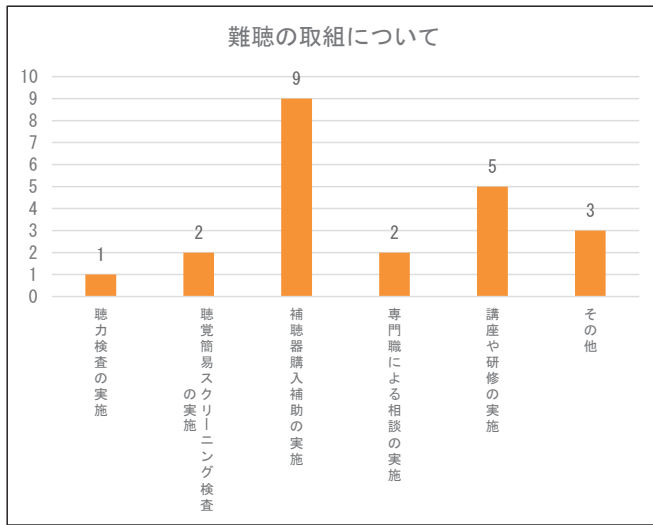
#### <その他の内容>

- ・78歳になる方のうち、見守り対象や何かしらの支援に繋がっていない方に向けて自宅訪問し、MCIのパンフレットや相談窓口の案内を実施。（八幡浜市）
- ・認知症予防の講話の中で「MCIに関すること」を普及啓発（西予市）
- ・運動教室として実施（内子町）
- ・認知症予防は地域の自主活動グループ等からの依頼があった際に講話等を行っている。ご当地体操として「愛南はつらつ介護予防体操」を制作しているが、そのメニューの中に認知症予防（コグニサイズ）を盛り込んでおり、介護予防の普及啓発として活用している。（愛南町）

17

## 8 認知症の予防等

### 認知症予防を含む介護予防の取組の中で難聴対策としている取組について



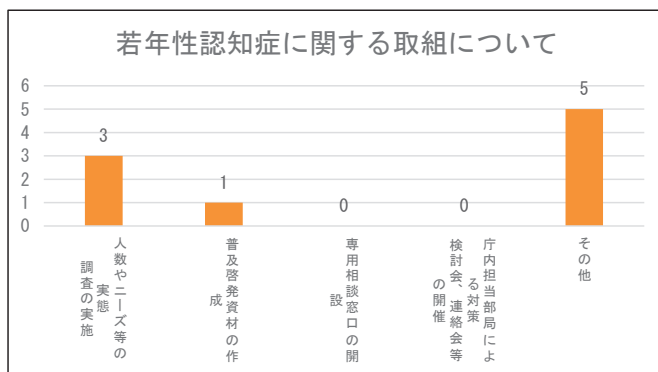
#### <その他の内容>

- ・認知症予防の講話の中で「耳の聞こえにくさを放置しないこと」を普及啓発(西予市)
- ・運動教室に向いた際、ミニ講話として実施(内子町)
- ・役場(町民課、保健福祉課、高齢者支援課)の相談窓口、軟骨伝導集音器を設置している。(愛南町)

18

## 9 若年性認知症に関する取組

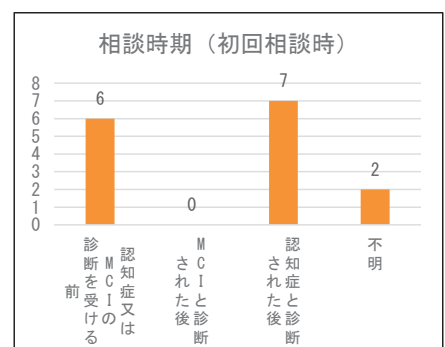
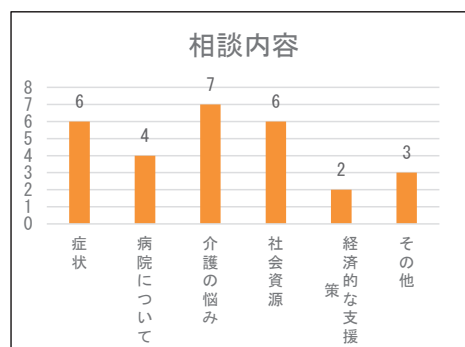
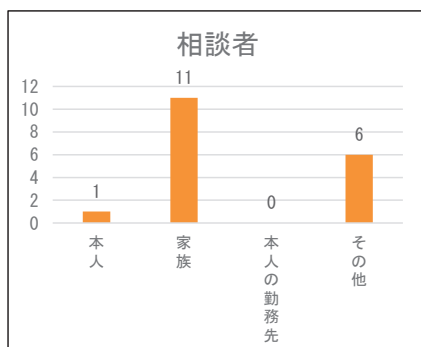
### 若年性認知症に関する取組について



#### <その他の内容>

- ・若年性認知症支援コーディネーター主催の事例検討会の参加や家族会の手伝い、参加。認知症カフェ参加の呼びかけ(松山市)
- ・個別相談対応、必要時受診同行(西予市)
- ・若年性認知症に限定した取り組みではないが、認知症地域支援推進員連絡会にて情報共有・検討。(久万高原町)
- ・認知症サポート医による研修会の実施(内子町)
- ・広報誌で相談窓口の紹介(鬼北町)

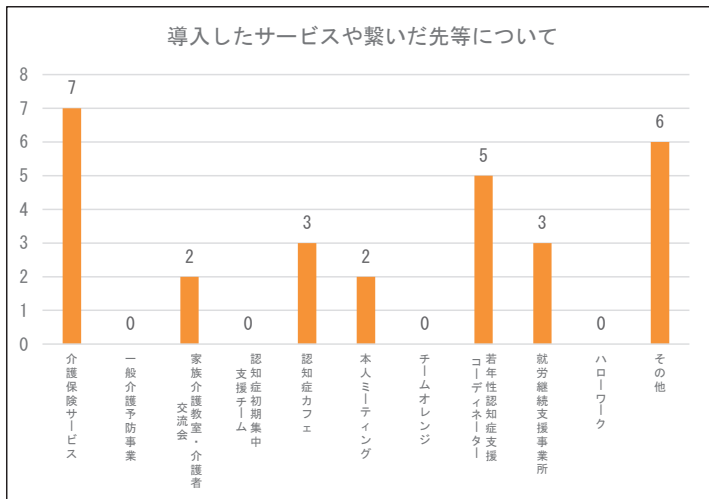
### 若年性認知症に関する相談について(令和7年4月1日～令和7年9月30日)



19

## 9 若年性認知症に関する取組

### 導入したサービスや繋いだ先等について



#### <その他の内容>

- ・地域活動支援センター(八幡浜市)
- ・若年性認知症本人と家族の会(伊予市)
- ・ご家族に若年性認知症のセミナーやフォーラムを紹介(四国中央市)
- ・家族支援(必要時病院受診の同行、認知症疾患医療センターとの連携)(西予市)
- ・介護保険サービスに繋がろうとしたが、うまくいかなかった。(東温市)
- ・えひめ認知症希望大使への推薦(鬼北町)

### 支援に困難を感じた事例概要

- ・限られた資源の中で本人に適したサービスを提案するが、利用につながりにくい。
- ・診断を受けたが数年間は、積極的な治療を受けず、家族は羞恥心等があり、相談されず、重症化している。
- ・介護認定がなされたが、家族が納得するデイ(通いのサービス)がない。

20

## 10 認知症カフェについて

### (1) 認知症カフェ設置数

76か所(令和7年11月末現在)  
※休止中のカフェを含む

### (2) 参加人数

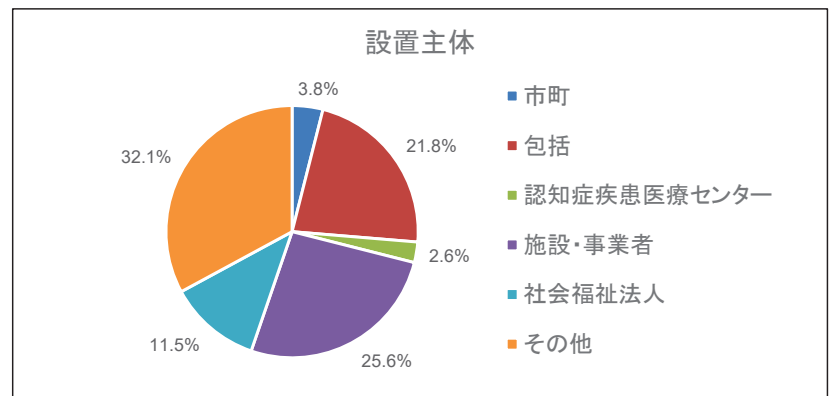
数人～50人程度

### (3) 参加対象者

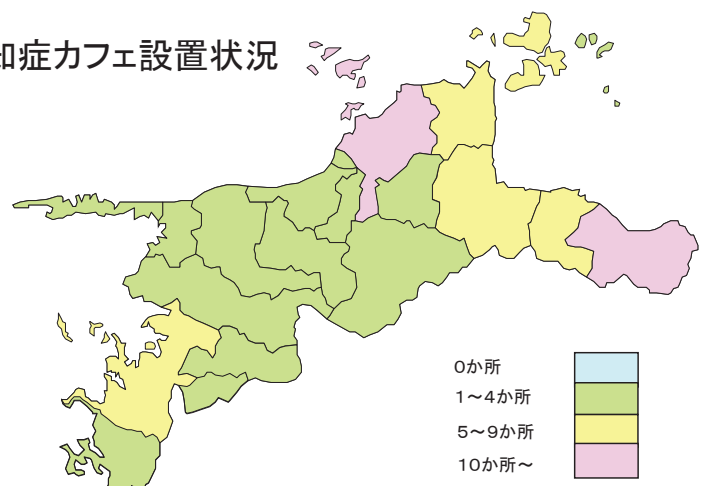
- ・認知症の人
  - ・認知症の人の家族
  - ・地域住民
- 等

### (4) 活動内容

- ・参加者同士での交流
  - ・専門職による相談
  - ・レクリエーション
- 等



### 認知症カフェ設置状況



21

# 11 チームオレンジについて

## (1) チームオレンジ設置数

15市町45チーム(令和7年11月末現在)

## (2) チーム員の人数

数人～106人程度

## (3) 認知症の本人の参加

参加あり・・・34チーム

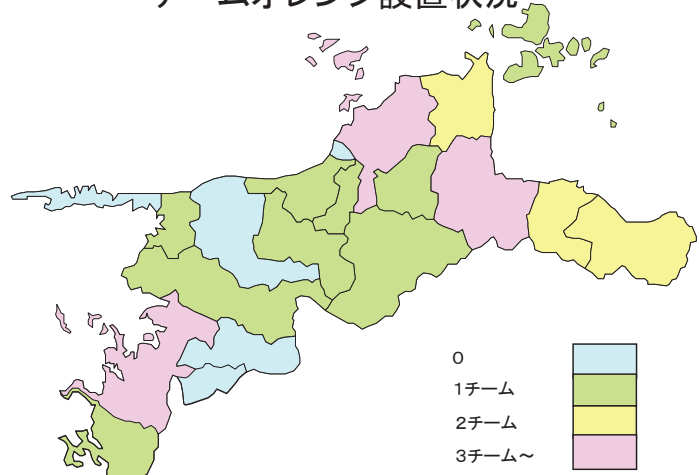
## (4) チーム員の所属等

- ・地域住民
- ・介護事業所・職員
- ・民生委員 等

## (5) 活動内容(抜粋)

- ・チームオレンジの活動として行う認知症カフェ、サロン前後の交流会、ゲーム、ミニ講座、物作り、公園でラジオ体操等を行い社会参加を促すなど(松山市)
- ・週1回の集いの場と月1回のサロン活動、体操等(今治市) ・防災退避訓練等(宇和島市)
- ・参加者同士の相談、商店街主催イベントに参加し啓発活動と個別相談を行う(八幡浜市)
- ・ミニ講座、イベント、体操等(新居浜市) ・認知症カフェをベースに活動している(西条市)
- ・認知症サポーター養成講座の講師、認知症カフェ(伊予市)
- ・畑作業や商店街で世代間の壁なくできる活動をしている(四国中央市)
- ・見守りボランティア、学習会等(西予市) ・各ブースを開設し、参加者が好きなブースで楽しむ(東温市)
- ・ゲームや茶話会等(上島町) ・町内の憩いの場としている(久万高原町)
- ・認知所カフェをベースに脳トレや手話歌、絵手紙等の取組を行っている。(砥部町)
- ・認知症カフェの運営、個別支援等(愛南町)

## チームオレンジ設置状況



22

# 12 その他

## 他市町における認知症施策・取組について知りたいこと

- ・「認知症になったら終わり。」という考えの人が多。またカフェを開いても、「どうしたら認知症にならないか」という内容に傾きがち。「生活習慣が悪い。」「努力がたらない。」などの持論を展開する人も多。「認知症になったら・なっても」という新しい認知症観を持つために取り組んでいる事業があれば教えていただきたい。
- ・チームオレンジの立ち上げを主体的におこなったが住民主体への移行が難しい。成功事例を知りたい。
- ・認知症施策推進計画策定にあたり、本人参画の取組をどのように行っているのか知りたい。
- ・認知症施策・取組において、各市町で認知症本人の声をどのように聴いているかの取組状況、本人との出会いの方法、また認知症と自覚している本人の割合やその現状について知りたいです。
- ・若年性認知症施策の取組
- ・チームオレンジに向けた取組
- ・認知症施策推進基本計画作成に関する取組状況
- ・徘徊高齢者に対しての見守り支援や啓発などの取り組みについて
- ・県、各市町における認知症施策推進基本計画作成に関する進捗状況等を教えていただきたい。

## その他(課題等)

- ・家族支援。本人に対する支援はさまざまあるが介護をしている家族を支援する制度も必要だと感じる。家族に対する被害妄想が顕著で家族が限界に感じているが本人は家族以外の支援を拒否しており本人以外が困っている。
- ・診断を受けた段階で、危ないからと本人が出来ることを取り上げてしまう家族が多い。本人のニーズと家族のデマンドとの狭間で悩むことがある。
- ・認知症カフェの安定的な運営・若年性認知症本人及び家族の発掘
- ・認知症の本人や家族が参加できる集まりの場はあり、意見を聞くことはできるが、人口規模が小さく取組に落とし込むことが難しい。
- ・様々な取り組みが推進されていることはよいことだが、人材不足の状況のなかで国から求められる事業や役割は増えており、行政職員や包括職員は1人が様々な役割を兼務せざるを得ない状況がある。

23